
すみだ環境共創区民会議

活動報告書

令和5年度・令和6年度



目 次

1	すみだ環境共創区民会議の概要	1
2	これまでの活動内容	2
3	今期のテーマ	3
4	今期の活動内容	3
	（1）フィールドワーク	3
	①花と緑のフィールドワーク	3
	②雨水ネットワーク全国大会への参加	8
	（2）区民への情報発信の強化	9
	①区公式ウェブサイト上での情報発信	9
	②すみだエココラム（すみエコ）の配信	10
	③区民への情報発信の検討	11
	（3）すみだ環境フェアへの出展	12
	①令和5年度すみだ環境フェア	12
	②令和6年度すみだ環境フェア	15
	（4）「緑の維持・育成」に関する検討	17
5	すみだ環境共創区民会議委員名簿	21

1 すみだ環境共創区民会議の概要

すみだ環境共創区民会議は、平成7年度に策定された墨田区環境誘導指針に基づき、区が行う施策等について区民及び事業者の意見・要望を反映させるために、「すみだ環境区民会議」として設置されて以来、2年間で1期として活動している。その後、平成18年度に施行されたすみだ環境基本条例により、区における環境の共創（※）に関する施策を総合的に推進するための会議として位置づけられ、名称を「すみだ環境共創区民会議」と改めた。

なお、すみだ環境基本条例では、すみだ環境共創区民会議（以下「区民会議」という。）は次に掲げる事項を行うこととしている。（すみだ環境基本条例第20条第2項）

- 環境基本計画（すみだ環境の共創プラン）のうち、区民及び事業者の活動と区の施策との整合性に関し協議すること。
- 環境の共創に関する実践活動を行うこと。
- 環境の共創の推進について、必要に応じ区長に意見を述べること。
- そのほか、環境の共創の推進に当たっての重要な事項に関し、協議すること。

※ 環境の共創とは「良好で安全かつ快適な環境の維持、回復及び創造並びに環境との共生をいう。」（すみだ環境基本条例より）



活動の様子

2 これまでの活動内容

期数	主な活動内容
1 期目 (平成 18 年度)	会議の運営方法や活動テーマの検討、環境基本条例の普及・啓発、環境基本計画策定に関する議論、花王墨田工場や区内公園の見学会
2 期目 (平成 19・20 年度)	雨水、エネルギー、公園、ごみ問題など多様なテーマに関する勉強会、墨田区の生き物についての講演会、省エネ生活の調査、スカイツリー環境影響評価の勉強会
3 期目 (平成 21・22 年度)	「すみだ環境区宣言」に関する議論、緑と生物をテーマとした活動（緑と生物の現況調査、緑の基本計画、緑と環境、区内道路公園の緑や東京都の緑の計画に関する講演の聴講、尾瀬での宿泊研修など）
4 期目 (平成 23・24 年度)	「すみだ環境の共創プラン」の改定に向けた意見集約、環境フェアへの出展開始、緑化やすみだ環境区宣言の周知方法に関するグループ討議
5 期目 (平成 25・26 年度)	「すみだ環境の共創プラン」の基本目標についての勉強会、水・緑・ごみの 3 つのテーマについての勉強会、グループ討議及び提言のとりまとめ
6 期目 (平成 27・28 年度)	「第二次すみだ環境の共創プラン」の意見交換、荒川をテーマとした施設見学会、勉強会や現地調査、環境フェア・すみだまつりでの荒川に関する区民意識調査
7 期目 (平成 29・30 年度)	区内の緑と生物をテーマとした活動（環境フェア・すみだまつりでの環境マップの作成や意識調査、区内外の緑化関連施設の見学、専門家の講演聴講、緑と生物の現況調査結果の報告・意見交換など）、ごみ・リサイクル問題についてのアンケート調査
8 期目 (平成 31 年(令和元年)・令和 2 年度)	「第二次墨田区緑の基本計画」の策定に向けた意見交換及び区への意見表明、区内緑のフィールドワーク、今後の緑化の進め方に関する意見交換
9 期目 (令和 3・4 年度)	「第二次すみだ環境の共創プラン」の中間改定及び「第二次墨田区緑の基本計画」の策定にあたっての意見交換、「気候変動」をテーマとした活動（区民ができる行動、PR 方法、気候変動対策の具体策の検討、「がすてなーに ガスの科学館」での見学研修）、墨田区の雨水利用や電力需給に関する講義聴講

3 今期のテーマ

前期のテーマが「気候変動」であったことを踏まえ、気候変動・地球温暖化対策として緑が果たす役割が重要であることから、区内の緑を豊かにしていくことを目的として、「緑の維持・育成」をテーマに今期の活動を行った。

また、活動の際には、区民の関心を高めるための情報発信に重点を置いた。

4 今期の活動内容

(1) フィールドワーク

① 花と緑のフィールドワーク

区内の現状や取組を知り、今後の「緑の維持・育成」に向けた行動、取組、施策などを検討するために、区内の花と緑に係る取組が行われる現場等を見学した。

○実施日

令和5年11月12日(日) 参加者 10名

令和5年11月19日(日) 参加者 11名

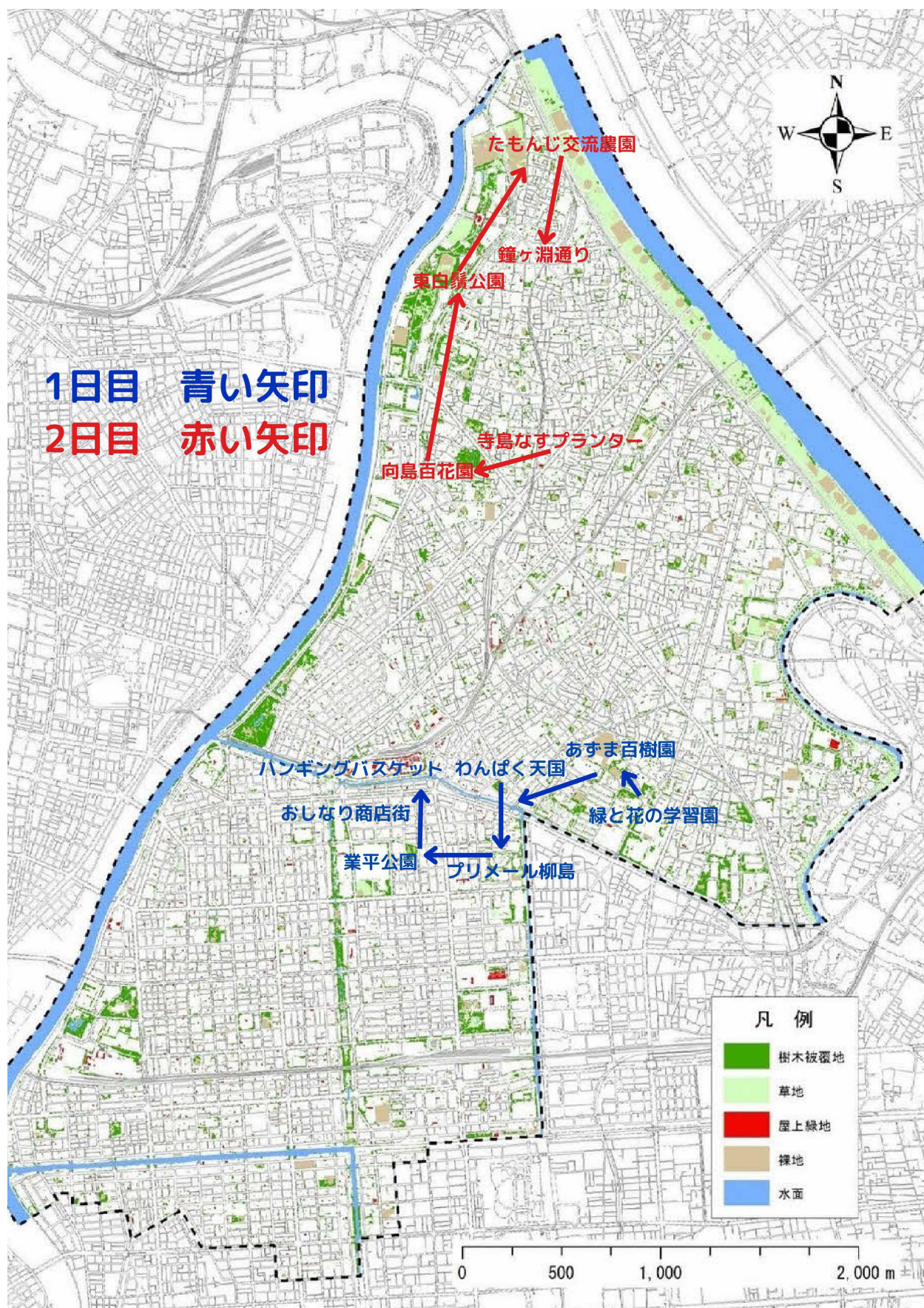
○当日見学コース

【11月12日(日)】

- (1) 緑と花の学習園
- (2) あずま百樹園
- (3) わんぱく天国(遊園緑化)
- (4) プリメール柳島(まちなか緑化)
- (5) 業平公園(公園緑化)
- (6) おしなり商店街(まちなか緑化)
- (7) スカイツリー付近のハンギングバスケット

【11月19日(日)】

- (1) 東向駅周辺の寺島なすのプランター
- (2) 向島百花園
- (3) 東白鬚公園
- (4) たもんじ交流農園
- (5) 鐘ヶ淵通りのまちなか緑化



ルートマップ

○委員の意見（抜粋）

【緑と花の学習園】

- ・活動を発信する手段（SNS等）があるとよい。
- ・花の名札があるのは勉強になった。プランターの花も名札があるとよい。
- ・活動している人の顔がわかるとよい。
- ・活動を知らなかったが、知ってもらう場が環境フェアだと思った。



【東向島駅前周辺の寺島なすのプランター】

- ・寺島なすなどの江戸野菜が植えられているのはよいと思ったが、反対側のプランターは枯れており、管理している事業者に働きかけた方がよい。
- ・寺島なすをより普及させてほしい。



【向島百花園】

- ・自然を残した庭園となっていてよい。対照的に百樹園はもう少し自然を残してほしい。
- ・季節によって違う景色が見られると思うので、また訪問してみたい。



【東白鬚公園】

- 広大な敷地の公園があることを知れてよかった。
人通りが少なく、イベントがあってもよい。



【たもんじ交流農園】

- 虫と植物の両方が生育できる環境づくりが大切である。
- 企業とコラボして屋上も緑化に活用していければよい。
- 農を楽しむ区民が多くいると感じた。より広い農園が創設されたら、多くの区民が農体験を楽しみ、コミュニティが育まれ、魅力あるまちづくりに発展していくと感じた。



【全体・その他】

- 初めて訪問する場所ばかりだった。区内に魅力的な場所があることを発見した。
- 人の顔が見えるような管理が好ましい。
- 大横川親水公園のように緑と水があるとよい。
- 区民も手をかけられる場所があるとよい。
- 向島地区と本所地区を比較すると、圧倒的に向島地区の方が、緑が多い。

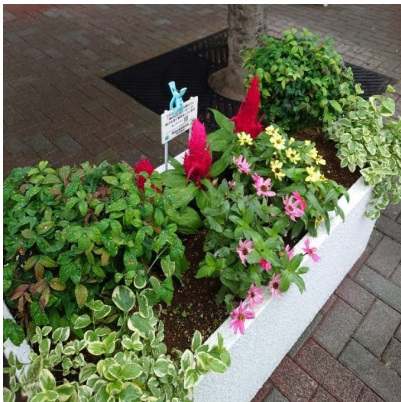


わんぱく天国



業平公園

- まちなか緑化のプランターが目立っていなかったなので、もっとアピールしてもよい。
- 鉢植え等で区民の意識の高さを感じたが、区民に向けて具体的にどう発信していくかが大事だと思った。
- 種のやり取りで周囲との交流ができる。あっという間に広まっていくのが面白い効果。
- 路地園芸が盛んであると、空き巣の減少につながる。
- まちなか緑化については、意識が低い事業者に働きかけることも必要である。



プリメール柳島まちなか緑化



東京スカイツリー周辺のハンギングバスケット



おしなり商店街



十間橋通りまちなか緑化

(まとめ)

今回のフィールドワークで新たに知ったスポットや取組も多く、区民への情報発信の重要性を改めて認識した。すみだ環境フェア等のイベントや SNS の活用などどのように情報発信していくかが課題である。

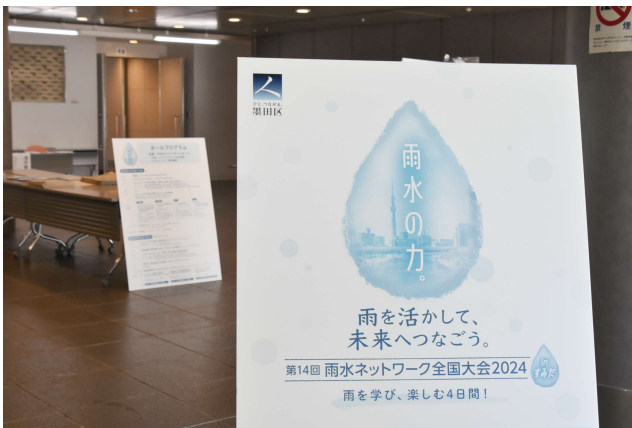
まちなか緑化については、事業者との連携や働きかけを行っていくことが必要である。また、人の顔が見える管理、緑や花を通じたコミュニケーションがあると、緑が豊かになるだけでなく、コミュニティが育まれるなど社会環境を向上させるメリットもあることを認識した。

② 雨水ネットワーク全国大会 2024 への参加

区民会議の委員の多くが、「第 14 回雨水ネットワーク全国大会 2024 in すみだ」に参加した。雨水活用の重要性について再確認するとともに、グリーンインフラなど緑の維持・育成と雨水活用を組み合わせる事例について多く学ぶ機会となった。

特に分科会「雨とネイチャーポジティブ～雨水を活用した都市緑化の可能性」では、「雨樋プランター」、「たもんじ交流農園」「自分でできる雨庭づくり」などの事例が紹介された。

- 開催日 令和6年8月3日（土）及び4日（日）
- 場 所 すみだリバーサイドホール、墨田区役所ほか
- 主 催 雨水ネットワーク全国大会 in すみだ実行委員会、墨田区



(2) 区民への情報発信の強化

① 区公式ウェブサイト上での情報発信

令和5年度すみだ環境フェアでのブース出展での意見等を踏まえ、まずは、すみだ環境共創区民会議の活動を知ってもらうことで、区民に環境に関心をもってもらおうこととした。

そのファーストステップとして、区公式ウェブサイト内に区民会議のページを作成し、区民会議の活動内容、メンバー構成、活動実績、今期の目標等を掲載した。

【すみだ環境共創区民会議ページ（抜粋）】

すみだ環境共創区民会議の活動紹介

最新日：2024年12月28日 ページID：963273343

すみだ環境共創区民会議とは

すみだ環境共創区民会議は、「環境にやさしいまち すみだ」を区民の皆様と一緒になってつくっていくチームです！
2023年までのカーボンニュートラル（地球温暖化防止のための温室効果ガスの排出を削減すること）を目指して活動しています！

「区民会議では、墨田区が決定する環境の基本計画について、どうすれば区民の皆様や事業者の活動に合わせられるかを考えているんだ！」

墨田区環境フェア
クマール 地球くん

「ちょっと帰った！ そそも、区民会議って何？」

具体的な活動内容

主に、次のような活動をしています。

すみだ環境フェアへの出展（6月）
墨田区や区内の企業・団体などのフィールドワーク（予定）
定例会議（毎月第4金曜日 3時30分から5時30分まで）
月1すみだエココラムの発行（毎月5日）

メンバー構成

現在は全員で12人の委員で構成しています。

メンバーは、環境にかかわる活動をしている団体、企業からのほか、一般区民や立場職でも入っています。

（民有地の会、墨田区のサポーター、エコライフサポーター、すみだ環境フォーラム、東京電力パワーグリッド株式会社出雲支部、東京ガス株式会社東京支店 等）

なぜ「カーボンニュートラル」を目指すのか

目指すことで、地球温暖化を防ぎ、未来の地球の自然環境や生命を救えるからです。
墨田区も2021年10月に「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を表明しています。

カーボンニュートラル＝地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、森林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。



出典：環境省 脱炭素ポータル

「墨田区に限らず、何もしないと2100年には地球全体で気温が4℃も上がるかも…
この先みんなで快速に暮らすには、カーボンニュートラルが欠かせないんだ！」

区目標

すみだゼロカーボンシティ2050宣言

墨田区 SUSTAINABLE DEVELOPMENT

すみだゼロカーボンシティ2050宣言
～脱炭素社会の実現を目指して～

環境問題は、かけがえのない地球環境の持続可能性を脅かす深刻な問題であり、「環境にやさしいまち」の実現に向けた取組を加速的に進めています。

しかし、気候変動による自然災害の発生や、環境破壊による生態系の崩壊が深刻化し、私たちの生活や健康を脅かすとともに、未来世代にも大きな影響をもたらしています。

2019年に墨田区が環境政策の推進を目的とする環境政策推進本部を設置し、環境政策の推進を推進しています。

2020年10月に墨田区が環境政策の推進を目的とする環境政策推進本部を設置し、環境政策の推進を推進しています。

2021年10月に墨田区が環境政策の推進を目的とする環境政策推進本部を設置し、環境政策の推進を推進しています。

2021（令和3）年10月5日

[このページの上へ戻る](#)

活動実績

区内の緑の状況調査してきました

2023年11月 区内の緑化状況調査のフィールドワーク

緑と花の学習園（墨田区文花）、向島から東京スカイツリー（R）近辺のまちなか緑化、向島百花園、東白鷺公園、たもんじ交流農園、鎌ヶ沢駅周辺でフィールドワークを実施し、緑化の現状を調査したり、施設の方々からお話を伺いました。



向島百花園

「すみだ環境の日（以下「環境の日」という。）」を PR するための取組の一貫として、区公式ウェブサイト内の区民会議のページ上で「すみだエコラム（すみエコ）」の配信を令和 7 年 1 月より開始した。

【令和7年1月5日配信】
冬のリビングでの節電の心得

更新日：2025年2月13日 ページID：621561388

毎月5日は、すみだ環境の日です。

みなさんよりすみだ環境の日を知ってもらえ、毎月5日に環境に関した具体的な行動を呼びかけています。

その1つの取組として、すみだ環境共創区民会議委員がすみだ環境の日に恵田区の環境やエコに関したコラムを発信しています。

1月号

Month	Electricity (kWh)	District Heating (kWh)	Gas (kWh)	Oil (kWh)	Total (kWh)
4月	120	10	10	10	237
5月	110	10	10	10	180
6月	100	10	10	10	148
7月	100	10	10	10	154
8月	100	10	10	10	177
9月	100	10	10	10	174
10月	100	10	10	10	169
11月	100	10	10	10	187
12月	100	10	10	10	251
1月	100	10	10	10	337
2月	100	10	10	10	317
3月	100	10	10	10	257

A dark, textured jacket, possibly made of wool or a similar heavy fabric, hanging on a yellow plastic hanger. The jacket has a high collar and a front closure. The background is a light-colored wall with a yellow curtain visible on the right.

- このページは環境政策課が担当しています。

更新日：2025年2月5日 ページID：621561388

毎月5日は、すみだ環境の日です。

みなさんよりすみだ環境の日を知ってもらうため、毎月5日に環境に関する具体的な行動を呼びかけています。

その1つを取組として、すみだ環境局区民会議員がすみだ環境の日には墨田区の環境やエコに関するコラムを発信しています。

2月号

- [illegible]

このページは環境政策課が担当しています。